ジャパントラストかわら版 情熱羅針盤

vol.4

ロサンゼルス研修報告

今年のゴールデンウィークに会社の研修旅行でロサンゼルスに行ってきました。ジャパントラストに入社して丸三年、アメリカ向けのサービスを中心に営業してきましたが、実は一度もアメリカを訪れたことはありませんでした。生まれて初めてのアメリカ合衆国で最初に驚いたのは道幅の広さでした。ハイウェイはもちろんダウンタウンにいたるまで、「広い道」というよりは「大きな道」といった印象を受けました。大きいのは道だけではありません。レギュラーサイズのはずのハンバーガー、ビバリーヒルズの大豪邸、街中のスーパーマーケット、ロス港のコンテナヤード、マジックマウンテンというジェットコースターだらけの遊園地、それら全てが日本のスケールに比べると「でかい…」と唖然とさせられてしまいました。

ロス・ロングビーチ港の大きさには特に驚かされました。一つ一つのコンテナヤードも日本に比べると非常に大きく、多いところでは８基以上もガントリークレーンを保有しているところもありました。そんな大規模なヤードがいくつもあり、見渡す限り海上輸送の物流基地となっているこの場所が、アメリカという大国の物流を支えていると実感いたしました。

ロス港湾局の方に伺ったのですが、第二次大戦前まで現在のロス港がある土地の一画に日系人の居留置があったそうです。しかし日本との戦争が始まり、ほとんどの日系人は大統領命令で強制収容所に送り込まれました。日系人達が去ったあとのその土地は、整備拡大されロス港の一部となりました。そして現在、ロス・ロングビーチ港はアメリカの玄関口として発展し、常にアジア各国からの貨物が揚げられています。日本人を排除した港が日本からの貨物を引き受けている、という現実に、歴史の皮肉を少し感じてしまいました。

現在のロス近郊で日本人が多く住んでいるのは、ガーディナ、トランスといった地域です。ここには多くの日系企業がオフィスを構え、弊社現地法人グレート・ラックもガーディナにオフィスがあります。我々の宿泊先もガーディナにある日本人向けのホテルで、フロントには前日の日本経済新聞まで売ってありまさにアメリカで働く日本人の前線基地、といった雰囲気でした。そんな前線の緊張感を肌に感じ、またアメリカビジネスの空気を感じ取ることができました。この経験を今後の仕事に活かし、お客様に還元出来ればと思います。

執筆：柏倉

Los Angeles 港

マジックマウンテンにて

お客様からもらった感謝の声

去年の夏に１件インドネシアのバリ島から家具の輸入がありました。１枚のB/Lがインドネシアの代理店から送られてきて、B/Lの荷受人には個人名と携帯の電話番号のみ記載されていました。電話してもなかなか連絡がつかず途方にくれていたのですが、あるとき連絡が取れるようになりました。お客様は六本木のホストクラブのオーナーで社員旅行にバリ島へ出かけた際に店舗に飾るための家具を購入されたとのことでした。ただ、その方は業界が全く異なり、船積書類の読み方などはもちろん英語もほとんどわからないとのことでしたが、海上輸送、通関、日本国内のdoor deliveryまで一貫してご依頼をいただき、請け負うことになりました。そのお客様と私の業界とではWorking timeが異なるので、連絡をとるのに時間が限られていましたが、納入期限に搬入することができ、受け渡しができたときにお客様からお礼の言葉をいただきました。また、最近テレビで見たのですが、その方は元カリスマホストとして、テレビで紹介されていました。とても、腰の低い方で人との対応に優れていて、さすが接客のプロだと実感しました。全く異なる業界の方と接することができ、刺激のある機会でした。

担当：依田

海運豆知識

日本人の好きな魚

スーパーマーケットや魚屋にはたくさんの種類の魚が並んでいますが、並んでいる魚も地域ごとに特徴があります。

地域や食べる人の年齢によって、好きな魚の種類は変わるのでしょうか。魚や貝類を食べている量を地域ごとに比べると、1998年には北海道が一番多くなっています。２番目は東北、3番目は四国です。逆に少ないのは南九州・沖縄です。これは北海道や東北に水産物が入ってくる大きな漁港がたくさんあり、水産物が買いやすいからと考えられます。また、たくさん食べられている魚の種類では、北海道地方ではサケ、イカ、関東地方ではマグロ、北陸地方ではイカ、ブリ、九州地方ではアジが多くなっています。

では、大人と子供ではどちらが水産物をより多く食べているのでしょうか。年齢ごとに食べている量を比べると、50歳代の人が一番食べています。若い頃はあまり食べなくても、40歳、50歳になっていくにしたがい、水産物を食べる量が増えていきます。

Letter from Los Angeles

先日、お客さんが日本からLos Angelesに出張に来られたので、車でいろいろと案内しました。San Diegoまで行く機会があり、車で行き、その日中にLos Angelesまで帰ってきました（道中　往復５時間）。Los Angelesに戻って、一緒に夕食を食べていると、“今日はありがとう。全部運転してくれてありがとう。疲れたでしょ。大変だったね…。”と、しきりに感謝するので、“全然大丈夫ですよ。San Diegoなら仕事でよく日帰りしますし…。”というと、“えっ！”と驚かれていました。こちらにいると完全な車社会のため、もっぱら車での移動なのです。私個人の感覚ですが（でも、多分こちらにいる人の感覚と同じ…。）片道2-3時間なら、余裕で車での移動です。片道4-5時間なら、通常は車での移動です。片道6-7時間なら、うーん、車かな…。と言ったところです。もちろん、私もこちらに来た当初は、長時間の車の運転に抵抗がありました。でも、電車はないも同然だし、飛行機で行っても向こうでの移動も困るし、といった具合で、車で長距離移動するうちに、だんだんと長時間運転への感覚が麻痺していきました。アメリカは広い。

特派員：神谷

＊本船スケジュールはホームページでもご覧になれます。
http://www.jpntrust.co.jp

ブッキングはこちらまで！
ジャパントラスト株式会社
本社：名古屋市中区丸の内 2-17-12　丸の内エステートビル９階
TEL：052-232-6671　Email：ncustomer@jpntrust.co.jp
東京支店：東京都港区芝大門 1-4-9 大門ビル４階
TEL：03-5473-8571　Email：tcustomer@jpntrust.co.jp